

## 1 青森県の推計人口（平成17年2月1日現在）…………… 1

県人口	1,448,945人	（対前月 787人減少、対前年同月 9,952人減少）
自然動態	507人減少	（出生者数 913人、死亡者数 1,420人）
社会動態	280人減少	（転入者数 1,237人、転出者数 1,517人）

## 2 本県の経済動向

### （1）経済概況

本県経済の動向は、雇用情勢の一部に明るい動きも見られるものの、需要は依然として低迷しており、生産も減少に転じたことから、全体として厳しい状態にある。

### （2）主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の生産動向 平成16年12月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が84.0で、前月比4.3%の低下となり、2ヶ月連続で前月を下回った。また、原指数は90.8で、前年同月比2.2%の低下となり、11ヶ月ぶりで前年同月を下回った。  
{ 化学工業を除いた指数では、季節調整済指数が87.6で、前月比2.1%の低下（2ヶ月ぶり）、原指数が94.4で、前年同月比0.3%の低下（2ヶ月ぶり）となった。  
} …… 2
- (2-2) 雇用情勢 平成16年12月の現金給与総額は483,678円で前年同月比3.7%増となった。このうち、定期給与は237,822円で2.7%増となった。総実労働時間は、162.4時間で前年同月比2.7%増となり、所定外労働時間では9.6時間で前年同月比16.6%増となった。  
 平成16年12月の有効求人倍率は0.37倍で、前月と同水準となった。  
 なお、新規高卒者の1月末現在の求人倍率は0.89倍となっており、昨年より高いものの、過去10年では2番目の低さとなっている。 …… 3
- (2-3) 物価 平成17年1月の青森県消費者物価指数は、99.1となり、前月と比べ0.4%の下落、前年同月と比べ0.4%の下落となった。 …… 4
- (2-4) 個人消費 平成16年12月の大型小売店販売額は、全店舗ベースで前年同月比4.6%減の174億8千5百万円となり、既存店ベースでも前年同月比5.0%減となった。  
 平成17年1月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は2,654台で、前年同月比4.8%の減となり、3ヶ月ぶりに前年を下回った。 …… 5
- (2-5) 住宅建設 平成16年12月の新設住宅着工戸数は694戸で、前年同月比4.2%増となり、4ヶ月連続で前年を上回った。 …… 6
- (2-6) 公共投資 平成17年1月の公共工事請負金額は、前年同月比18.9%減となった。 …… 6

### （3）景気動向指数（平成16年12月分）…………… 7

先行指数	50.0%	（3か月連続で50%を下回った後50%となった）
一致指数	62.5%	（6か月ぶりに50%を上回った）
遅行指数	42.9%	（7か月ぶりに50%を下回った）

# 1 青森県の推計人口（平成17年2月1日現在）

## 【概況】

平成17年2月1日現在の本県推計人口は、1,448,945人で、前月に比べ787人の減少、前年同月に比べると9,952人の減少となった。

### ○自然動態

出生者数が913人、死亡者数が1,420人で、507人の減少となった。

### ○社会動態

転入者数が1,237人、転出者数が1,517人で、280人の減少となった。

総人口の推移

(単位:人)

	総数	対前月増減率		増減数	自然増減数	出生者数	死亡者数	社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数	
		男	女								
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	
16.2.1	1,458,897	692,740	766,157	-0.040%	-581	-415	998	1,413	-166	1,334	1,500
16.3.1	1,458,159	692,330	765,829	-0.051%	-738	-296	912	1,208	-442	1,252	1,694
16.4.1	1,452,455	688,993	763,462	-0.391%	-5,704	-243	1,036	1,279	-5,461	4,532	9,993
16.5.1	1,453,207	689,495	763,712	0.052%	752	-160	999	1,159	912	4,749	3,837
16.6.1	1,452,844	689,216	763,628	-0.025%	-363	-242	942	1,184	-121	1,555	1,676
16.7.1	1,452,449	688,905	763,544	-0.027%	-395	-79	985	1,064	-316	1,413	1,729
16.8.1	1,451,562	688,424	763,138	-0.061%	-887	-134	993	1,127	-753	1,921	2,674
16.9.1	1,451,461	688,505	762,956	-0.007%	-101	-249	1,008	1,257	148	2,449	2,301
16.10.1	1,450,947	688,209	762,738	-0.035%	-514	-120	986	1,106	-394	1,618	2,012
16.11.1	1,450,734	688,048	762,686	-0.015%	-213	-258	911	1,169	45	1,791	1,746
16.12.1	1,450,219	687,716	762,503	-0.035%	-515	-300	965	1,265	-215	1,431	1,646
17.1.1	1,449,732	687,374	762,358	-0.034%	-487	-343	879	1,222	-144	1,275	1,419
17.2.1	1,448,945	686,936	762,009	-0.054%	-787	-507	913	1,420	-280	1,237	1,517

1月中の人口動態の推移

(単位:人)

年月		平8.1	9.1	10.1	11.1	12.1	13.1	14.1	15.1	16.1	17.1
自然動態	出生者数	1,149	1,137	1,192	1,131	1,110	1,101	1,022	1,048	998	913
	死亡者数	1,199	1,555	1,232	1,473	1,398	1,322	1,255	1,483	1,413	1,420
	自然増減数	-50	-418	-40	-342	-288	-221	-233	-435	-415	-507
社会動態	県外からの転入者数	1,623	1,647	1,466	1,427	1,350	1,402	1,429	1,460	1,334	1,237
	県外への転出者数	1,536	1,622	1,541	1,478	1,309	1,532	1,399	1,663	1,500	1,517
	社会増減数	87	25	-75	-51	41	-130	30	-203	-166	-280

※1 平成2、7、12年は国勢調査による数値。

※2 平成16年2月1日から平成17年2月1日までの人口は平成12年国勢調査人口(確定値)を基礎に推計している。

※3 増減数は、平成2、7、12年が前回、その他が前月に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口=前月の人口+自然増減数(出生者数-死亡者数)+社会増減数(県外からの転入者数-県外への転出者数)

※5 これまで社会動態の算定には、県間移動数に加え県内市町村間移動数も含めていたが、県内市町村間移動者数を含め

ないこととし修正を行なったことから、過去の公表数値と異なっている。

※6 県の推計人口には、県内市町村間の移動者数を含んでいない為、各市町村の推計人口の総計とは一致しない。

## 2 本県の経済動向

### (2) 主要経済指標の動向

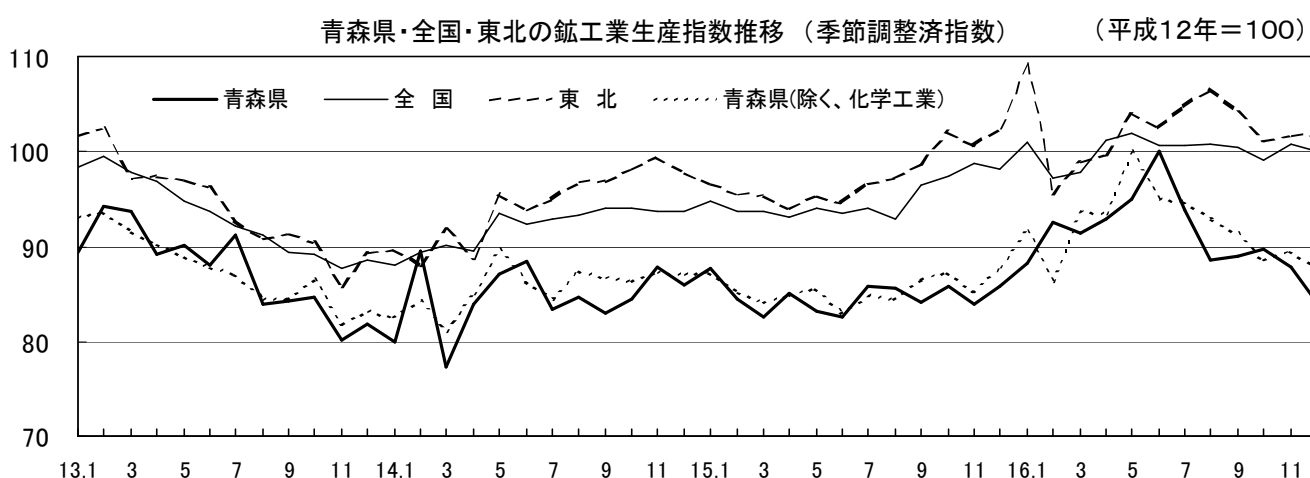
#### (2-1) 製造業の生産

平成16年12月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が84.0で、前月比4.3%の低下となり、2ヶ月連続で前月を下回った。また、原指数は90.8で、前年同月比2.2%の低下となり、11ヶ月ぶりで前年同月を下回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、一般機械工業、電子部品・デバイス工業、パルプ・紙・紙加工品工業などが上昇に寄与した一方、化学工業、食料品工業、金属製品工業などが低下し、鉱工業全体では4.3%の低下となった。

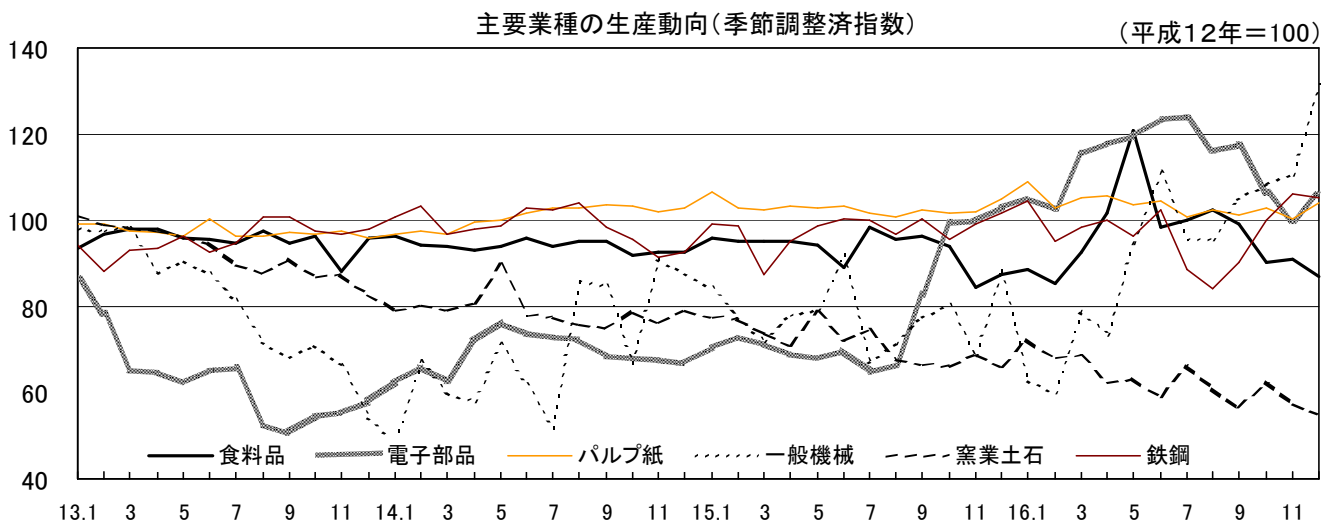
(化学工業を除いた指数について)

季節調整済指数が87.6で、前月比2.1%の低下(2ヶ月ぶり)、原指数が94.4で、前年同月比0.3%の低下(2ヶ月ぶり)となった。



#### ◎業種別動向(前月比) 鉱工業全体-4.3%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
一般機械工業	18.8	46.8	化学工業	-73.2	-80.9
電子部品・デバイス工業	6.2	27.5	食料品工業	-4.5	-39.8
パルプ・紙・紙加工品工業	3.6	11.2	金属製品工業	-22.2	-28.7
プラスチック製品工業	16.4	8.5	電気機械工業	-10.4	-20.3
精密機械工業	2.5	2.6	情報通信機械工業	-35.3	-11.4



資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

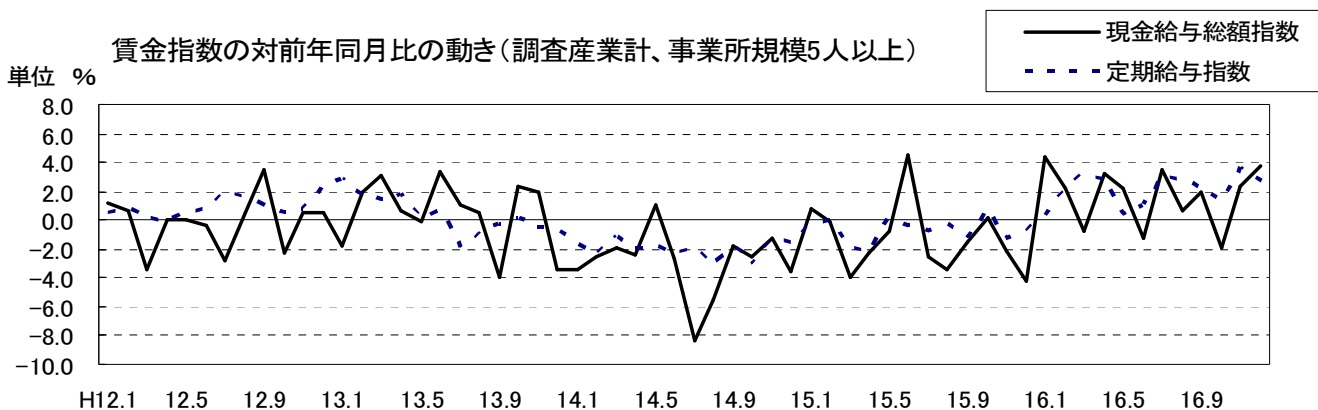
## (2-2) 雇用情勢

平成16年12月の現金給与総額は483,678円で現金給与総額指数(平成12年=100)では168.6となり、前年同月比3.7%増となった。このうち、定期給与は237,822円で定期給与指数では100.6となり、前年同月比2.7%増となった。実額で比較した定期給与の全国対比は87.1となった。

所定外労働時間は9.6時間で、所定外労働時間指数では111.6となり、前年同月比16.6%増となった。

平成16年12月の有効求人倍率は0.37倍(季節調整済値)で、前月と同水準となった。

なお、新規高卒者の1月末現在の求人倍率は0.89倍となっており、昨年より高いものの、過去10年では2番目の低さとなっている。



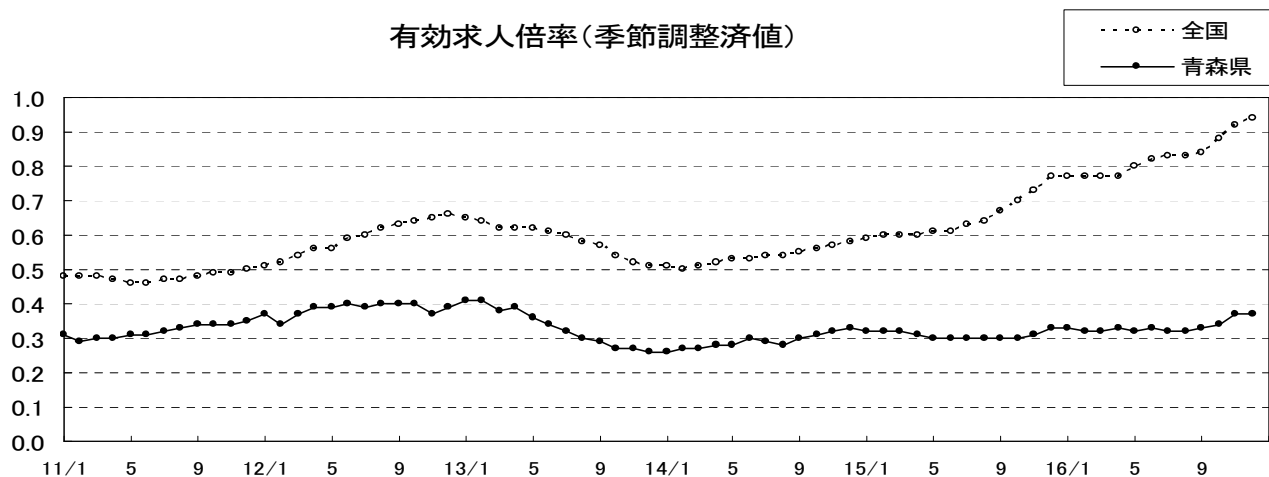
### 賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実 数		指数(H12=100)		対前年同月増減率	
	県	全 国	県	全 国	県	全 国
現金給与総額	483,678 円	604,767 円	168.6	171.2	3.7 %	-0.5 %
定期給与	237,822 円	273,111 円	100.6	96.8	2.7 %	-0.3 %
特別給与	245,856 円	331,656 円	—	—	—	—
総実労働時間	162.4 時間	151.5 時間	102.4	98.2	2.7 %	-0.2 %
所定内労働時間	152.8 時間	140.7 時間	101.8	97.5	1.9 %	-0.2 %
所定外労働時間	9.6 時間	10.8 時間	111.6	109.1	16.6 %	0.9 %

(注) 1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

2.前年同月比は指数によって算出している。

資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



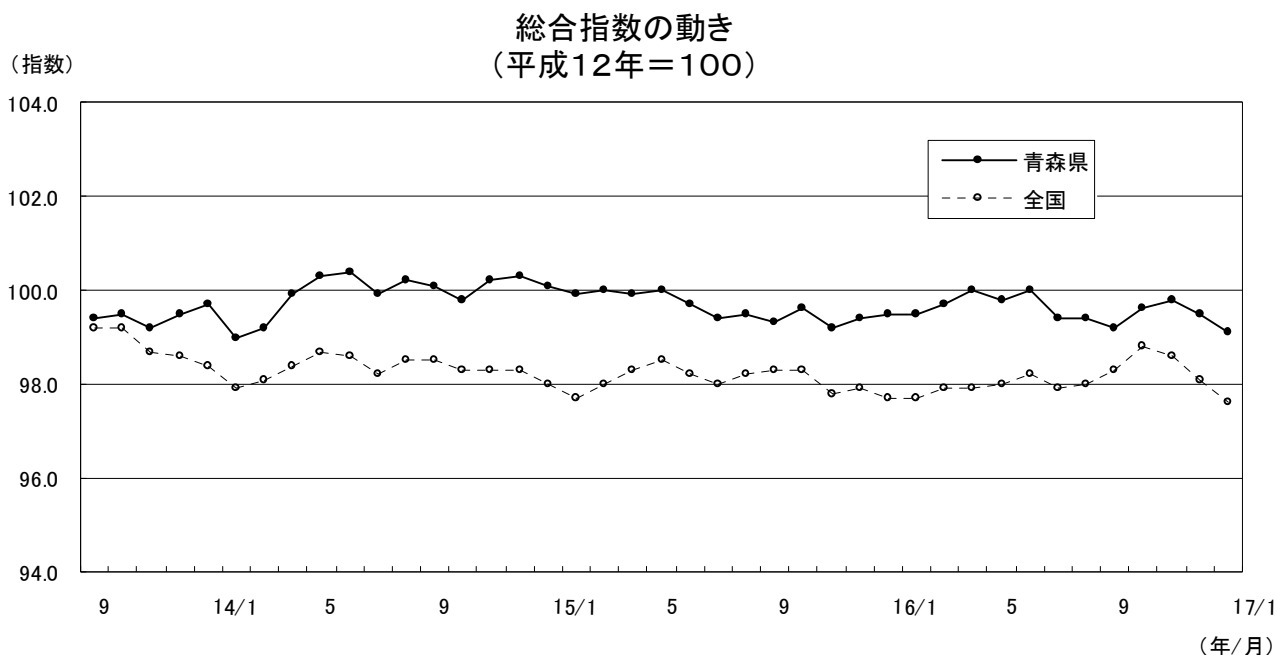
資料：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

### (2-3) 物価

平成17年1月の青森県消費者物価指数は、平成12年を100とした総合指数で99.1となり、前月と比べ0.4%の下落、前年同月と比べ0.4%の下落となった。

前月比が0.4%の下落となった内訳をみると、光熱・水道（電気代）、被服及び履物、交通・通信（固定電話通信料）などの下落が要因となっている。

前年同月比が0.4%の下落となった内訳をみると、被服及び履物、交通・通信などの下落が要因となっている。



### 10大費目別指数の動き

(平成12年=100)

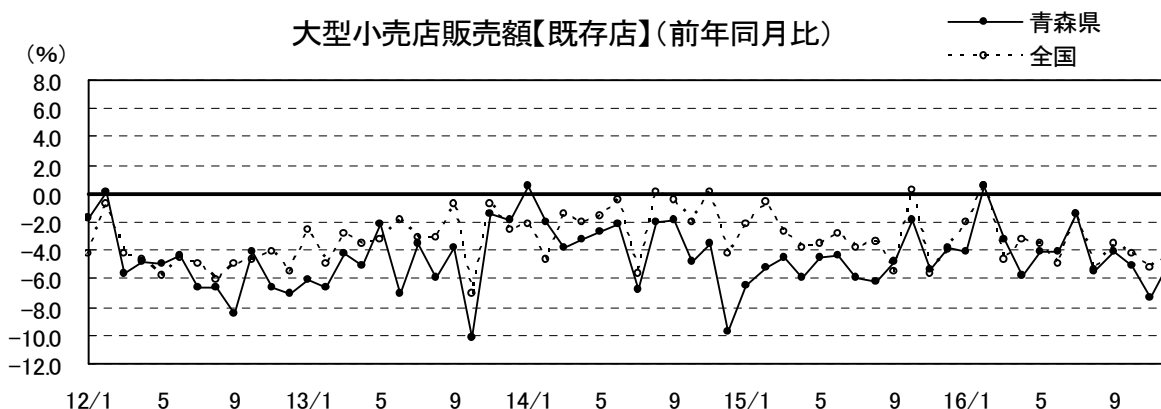
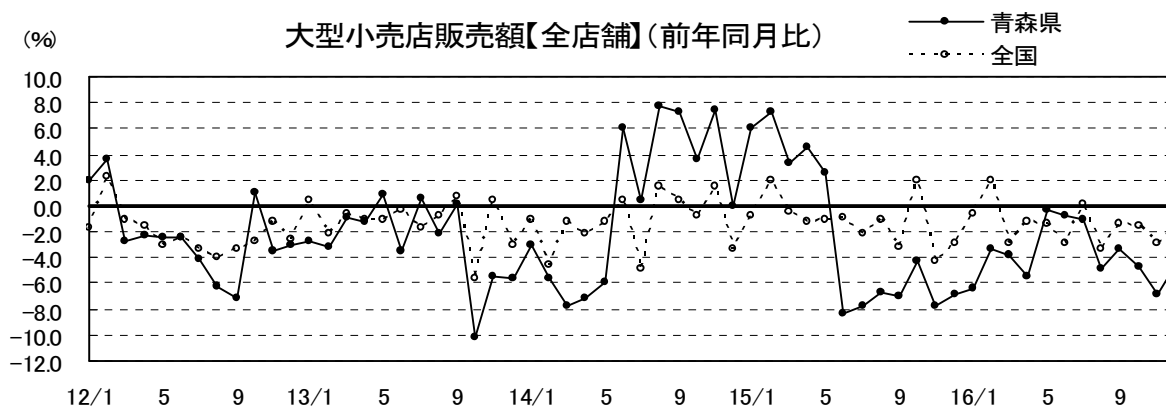
	総合	総合 (持ち家の 帰属家賃を 除く)	総合 (生鮮 食品を除く)	食料	生鮮 食品	住居	光熱・ 水道	家具 ・家事 用品	被服 及び 履き物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費
当月指数	99.1	97.8	98.9	100.3	103.9	105.6	101.8	88.5	89.3	105.3	96.0	106.2	88.7	103.0
前月比	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.6	0.4	4.2	0.8	▲ 1.5	0.0	▲ 5.0	▲ 0.1	▲ 1.0	0.0	▲ 1.1	0.6
前年同月比	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.6	▲ 0.1	4.8	0.4	2.6	▲ 3.3	▲ 6.0	▲ 2.4	▲ 0.4	5.3	▲ 1.4	▲ 0.7

資料：県統計分析課「青森県消費者物価指数月報」（速報）

## (2-4) 個人消費

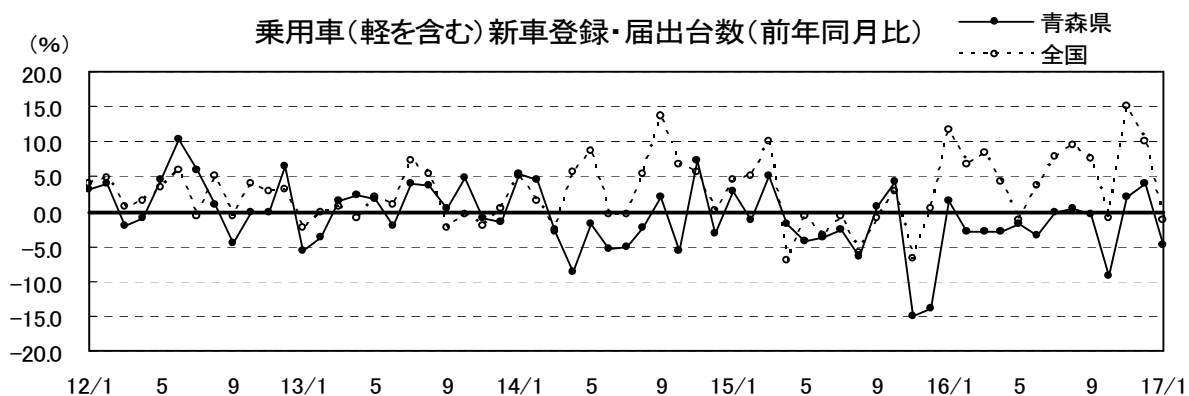
平成16年12月の大型小売店販売額は、全店舗ベースで前年同月比4.6%減の174億8千5百万円で19ヶ月連続のマイナスとなり、既存店ベースでも前年同月比5.0%減と10ヶ月連続でマイナスとなった。内訳でも、百貨店、スーパーとも、衣料品・飲食料品等すべての項目でマイナスになった。

平成17年1月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は2,654台で、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車いずれも減少したことにより、前年同月比4.8%減となり3ヶ月ぶりに前年を下回った。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

\* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

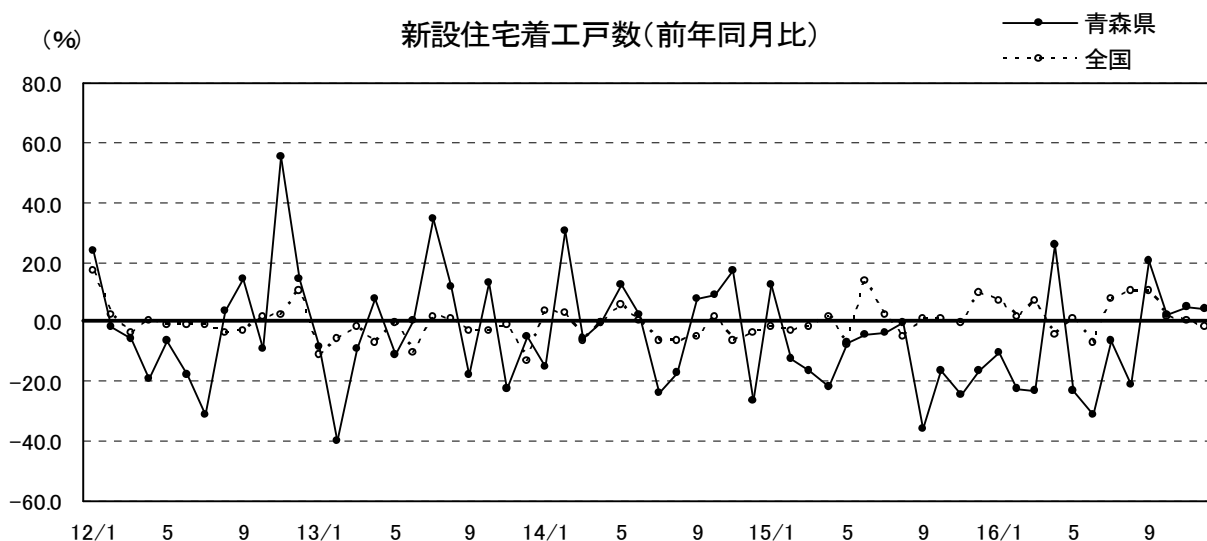


資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」

日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

## (2-5) 住宅建設

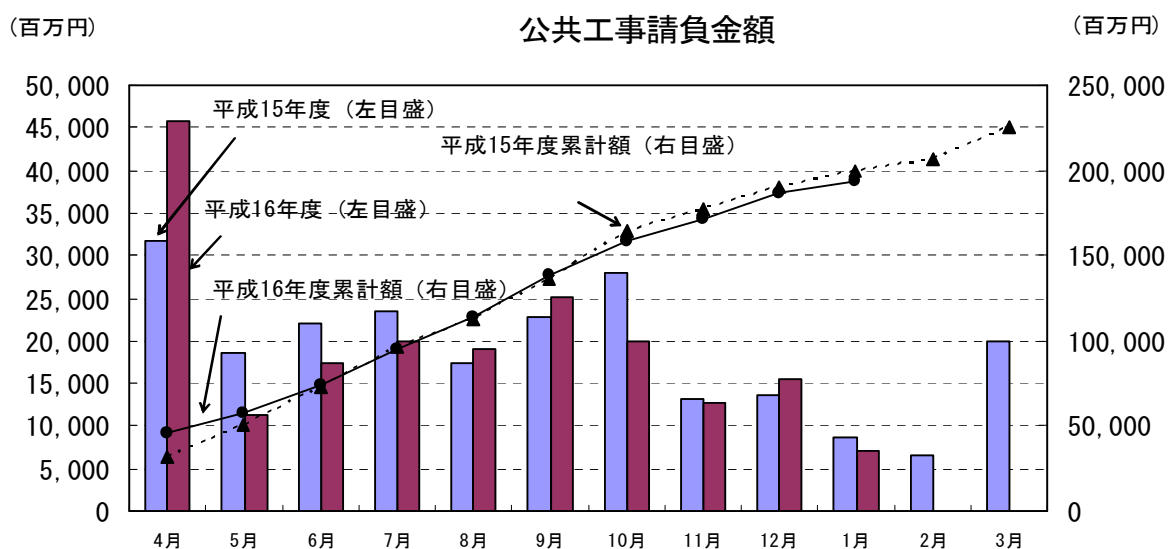
平成16年12月の新設住宅着工戸数は694戸で、前年同月比4.2%増となり、4ヶ月連続で前年を上回った。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

## (2-6) 公共投資

平成17年1月の公共工事請負金額は、単月では70億2千9百万円で、前年同月比18.9%減となった。発注主体別では、国は同65.3%減、県は同56.5%減、市町村は同8.6%増となった。また、4月からの累計は、1,938億円、前年比2.8%減となった。



資料：東日本建設業保証(株)青森支店「青森県内の公共工事の動向」

### (3) 青森県景気動向指数

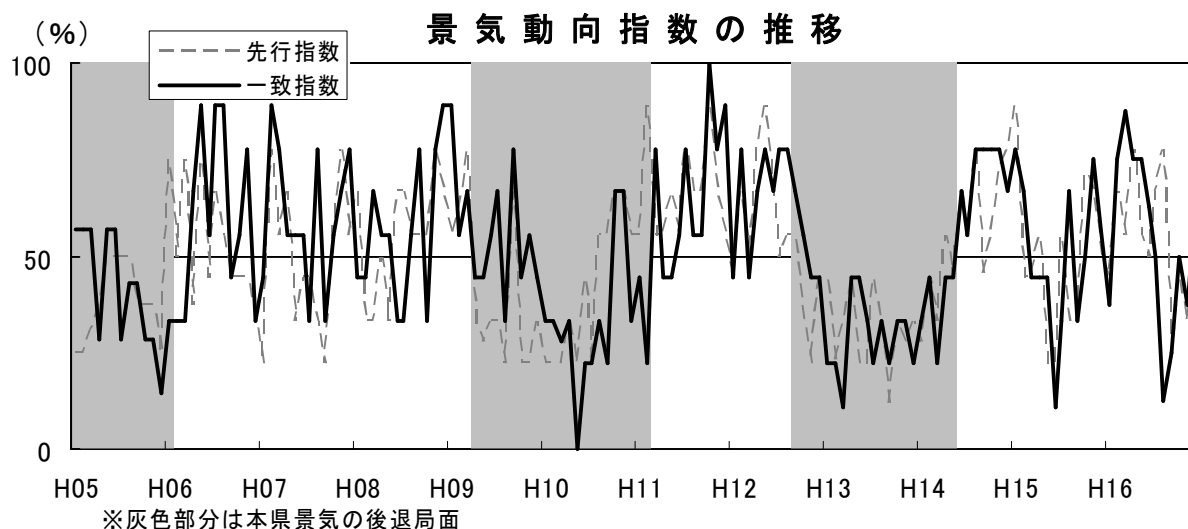
平成16年12月の青森県景気動向指数は、先行指数50.0%、一致指数62.5%、遅行指数42.9%となった。

先行指数は、3か月連続で50%を下回った後50%となった。

一致指数は、6か月ぶりに50%を上回った。

遅行指数は、7か月ぶりに50%を下回った。

12月の一致指数は、雇用関連、流通関連の指標等がプラスとなったことから、50%を上回った。



#### ●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています）

プラスの指標		マイナスの指標	
<b>先行系列（9指標中4指標がプラス、4指標がマイナス、1指標が保合）</b>			
新規求人数（常用）	3か月連続	所定外労働時間指数（全産業）	4か月連続
入職率（製造業）	2か月ぶり	乗用車新車登録届出数	3か月連続
企業倒産負債額	4か月ぶり	生産財生産指数	2か月連続
建築着工床面積（鉱+商+サ）	5か月ぶり	新設住宅着工戸数	3か月ぶり
中小企業景況DI		2か月ぶりプラスの後保合	
<b>一致系列（8指標中5指標がプラス） ※1</b>			
有効求人数（常用）	11か月連続	大型小売店販売額（実質）	7か月連続
雇用保険基本手当初回受給者数	3か月連続	鉱工業生産指数	5か月連続
日銀券月中発行高	2か月連続	電気機械生産指数	2か月連続
海上出入貨物量（八戸港）	2か月ぶり		
大口電力使用量	6か月ぶり		
<b>遅行系列（7指標中4指標がマイナス）</b>			
単位労働コスト（製造業）	6か月連続	勤労者世帯家計消費支出（実質）	2か月ぶり
常用雇用指数（製造業）	5か月連続	1人平均月間現金給与総額	2か月ぶり
輸入通関実績（八戸港）	4か月連続	信用保証申込金額	3か月ぶり
		消費者物価指数（帰属家賃除く総合）	3か月ぶり

※1 一致系列の東北自動車道IC利用台数については、青森中央IC、青森東ICの開通による影響が大きいため、当面の間、判定に用いないこととする。

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」